|  |
| --- |
| **平成30年の大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き**大阪府総務部統計課　勤労・教育グループ《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin_n/index.html> 》 |

トピックス１

平成31年４月に、平成30年の「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」（速報）を公表しましたので、その概要を紹介します。

**１　主な動き（平成30年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**

(1)賃金の動き

現金給与総額は、339,081円。名目賃金指数（平成27年平均＝100。以下同様。）は101.2で、前年比は1.0％の増加となり、平成29年以降、２年連続で増加が続いています。

(2)労働時間の動き

総実労働時間は、139.3時間。労働時間指数は98.0で、前年比は1.2％の減少となり、平成27年以降、４年連続で減少が続いています。

(3)雇用の動き

常用労働者数は、3,889,289人。常用雇用指数は106.2で、前年比は1.8％の増加となり、平成24年以降、７年連続で増加が続いています。

**２　就業形態別賃金、労働時間及び雇用（平成30年平均、調査産業計・事業所規模５人以上）**

賃金、労働時間及び雇用を就業形態別（一般労働者とパートタイム労働者）にみると、現金給与総額は、一般労働者が 452,411円、パートタイム労働者が 101,826円となった。

一方、総実労働時間は、一般労働者が 166.2時間、パートタイム労働者が 83.0時間となった。

また、常用労働者数は、一般労働者が 2,632千人、パートタイム労働者が 1,257千人となった。



**３　パートタイム労働者比率の動き（平成30年平均、事業所規模５人以上）**

常用労働者に占めるパートタイム労働者の割合は調査産業計で32.3％となり、平成22年以降、９年連続の増加となった。また、６年連続で年平均30％を超え、産業別では「宿泊業，飲食サービス業」が最も高く、81.3％となった。



